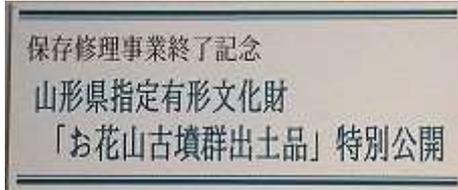


# 山形県指定有形文化財「お花山古墳群出土品」特別公開

## —保存修理事業終了記念—

令和4年1月20日～3月20日(日)



### お花山古墳群について

お花山古墳群は、山形市北東部の青野地区、お花山の丘陵に分布する5世紀後半～6世紀後半にかけての古墳群です。東北横断自動車道酒田線建設に伴い、1982・83・86年に山形県教育委員会により25基について発掘調査が行われました。

直径約7～19mの小規模な円墳群で、内部主体は木棺直葬と箱式石棺の高塚があり、山形県内初の出土例となる板文鏡（1号墳）、乳文鏡（22号墳）が発見されました。



お花山古墳群航空写真（第1次調査）（東から）



## お花山古墳の位置と調査状況

### お花山古墳群出土品について

古墳からは、漆器や鉄器などの副葬品をはじめ、出土品の中には高貴な金銀製品、石製品、ガラス製品や書簡や銅鏡などの材料が出土し、墳墓者の気持や考えから貴重な資料として発見されました。また、古墳の敷地を売却するうえで伴った土壌調査・調査員が偶然に発見しており、これらの遺物は極めて稀代の古墳時代後期前期のものと推定されました。

出土品の一環として、山形県は古墳文化を研究するうえで貴重な資料であることから、平成11年12月30日に、「山形県指定有形文化財（古墳時代後期前期）出土品（古墳群出土品）」として、700点が県指定有形文化財に登録されました。



乳文鏡複製品（複製品）

板文鏡出土品複製品

### 保存修理事業について

発掘調査で出土する金属製品は、当時の人々の営みや製作技術を知るうえで大変貴重な資料ですが、金属製品は土に埋まっている間に錆びて崩壊したり、発掘調査で掘り出されたことにより新たな錆が発生して崩壊してしまうこともあります。

お花山古墳群からも多数の金属製品が出土しており、出土品のうち銅鏡・鉄製品等146点については、平成18年～23年に保存処理を実施しています。しかし、当時、保存処理を実施していなかった一部の金属製品に新たな錆の進行が確認されたため、山形県では令和2年度に国庫補助金を受けて、お花山古墳群出土品のうち鉄製品の保存修理事業を実施しました。

鉄製品の保存処理は、県指定品11点のほか、修理対象と接合する可能性の高い未指定の小片11点についても同様に保存処理を行い、指定品との接合関係の確認作業を実施しました。

令和2年度の保存処理により、お花山古墳群出土の金属製品については、全ての保存処理を終えることとなりました。

### 保存処理の流れ

- 1 発掘調査・記録
- 2 発掘調査の記録
- 3 フォトリソグラフィ
- 4 フォトリソグラフィ
- 5 フォトリソグラフィ
- 6 フォトリソグラフィ
- 7 フォトリソグラフィ
- 8 フォトリソグラフィ
- 9 フォトリソグラフィ
- 10 フォトリソグラフィ
- 11 フォトリソグラフィ
- 12 フォトリソグラフィ
- 13 フォトリソグラフィ
- 14 フォトリソグラフィ
- 15 フォトリソグラフィ
- 16 フォトリソグラフィ
- 17 フォトリソグラフィ
- 18 フォトリソグラフィ
- 19 フォトリソグラフィ
- 20 フォトリソグラフィ
- 21 フォトリソグラフィ
- 22 フォトリソグラフィ
- 23 フォトリソグラフィ
- 24 フォトリソグラフィ
- 25 フォトリソグラフィ

## お花山古墳群出土品の概要

## 保存修理事業について



1号墳 10号棺の鉄剣



4号墳の玉類



1号墳 10号館の櫛

16号墳の櫛



3号墳鉄鉞



24号墳他鉄鍬



24号墳馬具 13号墳刀子 3号墳鉞留金具・絞金具



1号墳 10号棺の鉄剣



2号墳刀子



21号墳刀子



24号墳鉄鍬



24号墳刀



3号墳鉄製品



刀子



鉄鍬残欠